

令和元年度 事業報告

平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日まで

I. 事業の概要

令和元年度は下記のように、研究助成、褒賞、国際交流事業及び普及事業を実施した。

1. 研究活動に対する助成

令和元年 7 月、募集要領を、関連 34 学会、財団の理事、評議員に送付、及びホームページに記載し、研究助成候補者を公募。

締切日(令和元年 10 月 11 日)までに 101 件の応募があり選考の結果

下記 11 件の助成を決定。 合計=920 万円

- | | |
|----|--|
| 池上 | 啓介 (愛知医科大学医学部助教) 助成額=80 万円
「概日履歴現象の分子制御機構と神経網の変遷」 |
| 大川 | 宜昭 (獨協医科大学先端医科学統合研究施設部門長/准教授) 助成額=80 万円
「セル・アンサンブル活動と認知機能の関係」 |
| 奥田 | 寛 (金沢大学ナノ生命科学研究所准教授) 助成額=80 万円
「脳構築における層構造形成の力学制御機構」 |
| 國松 | 淳 (筑波大学医学医療系生命医科学域助教) 助成額=80 万円
「視覚情報の曖昧さを表現する神経回路」 |
| 高橋 | 真有 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科助教) 助成額=80 万円
「眼球運動座標系とリスティングの法則の神経機構」 |
| 竹本 | 研 (横浜市立大学医学部特任准教授) 助成額=80 万円
「定常状態のシナプス応答が持つ生理機能」 |
| 綱田 | 丈二 (岩手大学農学部助教) 助成額=80 万円
「父親による養育 (子育て) 行動の脳内機構」 |
| 平林 | 祐介 (東京大学大学院工学系研究科准教授) 助成額=100 万円
「オルガネラ間相互作用による神経細胞の制御」 |
| 本城 | 咲季子 (筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構助教) 助成額=80 万円
「光遺伝学によるシナプス長期増強誘導系の確立」 |
| 丸岡 | 久人 (東京大学大学院医学系研究科助教) 助成額=80 万円
「精神疾患に伴う大脳回路構造異常の精密解析」 |
| 三國 | 貴康 (新潟大学脳研究所教授) 助成額=100 万円
「脳での新規生合成分子の動態イメージング」 |

2. 研究に対する褒賞

令和元年7月、推薦要領を、関連34学会、財団の理事、評議員に送付、及びホームページに記載し、塚原仲晃記念賞受賞候補者の推薦を公募。

締切日（令和元年10月11日）までに、17件の推薦があり、選考の結果下記2件の授賞を決定。褒賞額＝各100万円、合計＝200万円

岡田 康志（理化学研究所生命機能科学研究センターチームリーダー）

「超解像顕微鏡による神経細胞軸索輸送の研究」

高橋 琢哉（横浜市立大学大学院医学研究科教授）

「神経回路形成のメカニズム解明と臨床応用」

3. 国際交流助成

(1) 海外派遣研究助成

令和元年7月、募集要領を関連34学会、財団の理事、評議員に送付、及びホームページに記載し、海外派遣研究助成候補者を公募。

締切日（令和2年1月10日）までに、10件の応募があり、選考の結果本年度は該当なしと決定。

(2) 海外研究者招聘助成

令和元年7月、募集要領を関連34学会、財団の理事、評議員に送付、及びホームページに記載し、海外研究者招聘助成候補者を公募。

締切日（令和2年1月10日）までに、17件の応募があり、選考の結果下記7件の助成を決定。合計＝200万円

申込者：西真弓（奈良県立医科大学教授／大会長）助成額＝25万円

ギャレス・レング氏（エディンバラ大学名誉教授）を

第47回日本神経内分泌学会学術集会での特別講演及び奈良県立医科大学での講演と共同研究打合せのため招聘。

テーマ「Signaling, Homeostasis and Energy Balance」

申込者：青木悠太（昭和大学発達障害医療研究所講師）助成額＝30万円

ドロテア・フローリス氏（ラドバウド大学博士研究員）を

第43回日本神経科学大会シンポジウムでの講演及び昭和大学等への訪問のため招聘。

テーマ「Individualised trajectories of lateralisation differentiate between different language profiles in individuals with autism」

申込者：竹内雄一（名古屋市立大学大学院薬学研究科研究員）助成額＝25万円

エラン・スターク氏（テルアビブ大学主任研究員）を

第43回日本神経科学大会シンポジウムでの講演及び名古屋市立大学への訪問のため招聘。

テーマ「認知機能を生み出す神経活動の実時間操作」

- 申込者：北澤茂^{きたざわしげる}（大阪大学大学院生命機能研究科教授／大会長）助成額＝30万円
ジュリオ・トノーニ氏（ウィスコンシン大学教授）を
第43回日本神経科学大会でのプレナリーレクチャーのため招聘。
テーマ「統合情報理論に基づく意識の神経基盤の解明」
- 申込者：宮本大祐^{みやもとだいすけ}（ウィスコンシン大学リサーチアソシエート）助成額＝30万円
マジッド・モハジェラーニ氏（レスブリッジ大学准教授）を
第43回日本神経科学大会シンポジウムでの講演のため招聘。
テーマ「皮質広領域における睡眠脳波の時空間解析」
- 申込者：竹田哲也^{たけだてつや}（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科助教）助成額＝30万円
ハーベイ・マクマーン氏（MRC分子生物学研究所グループリーダー）を
第58回日本生物物理学会年会シンポジウムでの講演及び
奈良先端科学技術大学院大学等での講演のため招聘。
テーマ「Membrane shape, fission and fusion」
- 申込者：馬場広子^{ばばひろこ}（東京薬科大学薬学部教授／大会長）助成額＝30万円
クラウドス・アミン・ナベ氏（マックスプランク実験医学研究所ディレクター）を
第63回日本神経化学会大会でのプレナリーレクチャーのため招聘。
テーマ「オリゴデンドログリアによる脳機能調節」

4. 普及啓発事業

(1) 講演会等の開催

①「塚原仲晃記念賞」受賞記念講演会

令和元年7月25日（木）午後4時50分から午後5時50分
朱鷺メッセ第1会場（新潟市）、第33回（平成30年度受賞者）
塚原仲晃記念賞受賞記念講演会を開催。対象は脳科学関係の研究者。
参加者約500名。入場無料。

②伊藤正男追悼国際シンポジウム

主催：伊藤正男追悼国際シンポジウム実行委員会
共催：当財団のほか「日本神経科学学会」「東京大学大学院医学系研究科・医学部」
「理化学研究所脳神経科学研究センター」
当財団前理事長伊藤正男氏追悼（平成30年12月18日ご逝去）のシンポジウムを
「東京大学伊藤国際学術研究センター」にて開催した。
同氏の業績と世界の神経科学への貢献を偲び今後の神経科学の発展の方向性を探る
ことを目的とする。

令和元年6月3日（月）午後12時00分～午後6時05分

6月4日（火）午前9時00分～午後12時45分の計2日間

対象は国内外の脳科学関係の研究者・学生。参加者約500名。入場無料。

当日の講演者は以下の7名：

- ・ Karl Deisseroth (Department of Bioengineering, Stanford University)

- ・ Catherine Dulac (Department of Molecular and Cellular Biology, Harvard University)
- ・ Sten Grillner (Nobel Institute for Neurophysiology, Karolinska Institute)
- ・ Masanobu Kano (Graduate School of Medicine, The University of Tokyo)
- ・ Mitsuo Kawato (Brain Information Communication Research Laboratory Group, ATR)
- ・ Mu-Ming Poo (Institute of Neuroscience, Shanghai Institute for Biological Sciences)
- ・ Sebastian Seung (Department of Computer Science, Princeton University)

③ 「脳の世紀」 シンポジウム

令和元年 9 月 11 日 (水) 午前 10 時 10 分より有楽町朝日ホールにて「脳の世紀」シンポジウムを NPO 法人脳の世紀推進会議と共同開催。

特別講演 及び 脳を知る・脳を守る・脳を創る・脳を育むの各テーマについて講演。対象は一般市民。参加者約 700 名。入場無料。

特別講演：「運動と脳」

為末 大 (Deportare Partners 代表、元陸上競技選手)

脳を知る：「身体運動が創発する脳の発達、特殊化と機能改善」

内藤 栄一 (情報通信研究機構脳情報通信融合研究センター)

脳を守る：「位置について、ヨーイ、ドン」の神経科学」

西村 幸男 (公益財団法人東京都医学総合研究所)

脳を創る：「アスリートの脳を解明し鍛える」

柏野 牧夫 (NTT コミュニケーション科学基礎研究所)

脳を育む：「ニューロンの高層建築「脳」の建設過程を観察する」

見学 美根子 (京都大学高等研究院物質・細胞統合システム拠点)

④ 「世界脳週間」の開催

「世界脳週間」を NPO 法人脳の世紀推進会議と共同開催。

令和元年度は春から秋にかけて全国の下記 15 会場にて開催し、公開講演、討論、病院や研究所の公開、学校訪問などを実施。対象者は中高校生及び学校関係教職員と一般市民。参加費無料。

東山高等学校、新潟大学脳研究所、名古屋市立向陽高等学校体育館、群馬大学医学部、国立精神・神経医療研究センター、岡崎市保健所げんき館、広島大学医学部第 5 講義室、理化学研究所脳科学中央研究棟 1F セミナー室、山梨大学大村智記念学術館大村記念ホール、東京医科歯科大学 M&D タワー 2 階共用講義室 1、東北大学片平キャンパス、慶應義塾大学医学部、大阪大学生命機能研究科生命システム棟、玉川大学、桜蔭学園桜蔭高等学校講堂

「世界脳週間」とは、脳科学の科学としての意義と社会にとっての重要性を一般に啓発することを目的として、世界的な規模で行われるキャンペーンで、1993 年アメリカ合衆国での開催を皮切りに全世界に拡大し、我が国は 2000 年から参加。

(2) 広報活動

研究報告集：第 32 回塚原仲晃記念賞受賞者及び第 32 回研究助成受領者の研究報告を「ブレインサイエンス・レビュー 2020」として編集。

II. 処務の概要

1. 役員に関する事項

(1) 理事及び監事

令和2年3月31日現在の理事・監事は別紙記載のとおり。

(2) 理事会

令和元年度第1回理事会（令和元年5月14日開催）

決議事項

- ①平成30年度事業報告
- ②平成30年度収支決算報告

報告事項

- ①平成30年度会計監査執行の報告
- ②代表理事及び常務理事の職務執行状況の報告

令和元年度第2回理事会（令和2年3月3日書面決議）

決議事項

- ①第34回塚原仲晃記念賞、研究助成及び第33回国際交流助成の選考
- ②令和2年度事業計画
- ③令和2年度収支予算
- ④令和2年度資金調達及び設備投資の見込みについて
- ⑤選考委員の選任

令和元年度第1回臨時理事会（令和2年3月19日開催）

決議事項

- ①使途特定寄附金の受け入れについて

報告事項

- ①代表理事及び常務理事の職務執行状況の報告

2. 評議員に関する事項

(1) 評議員

令和2年3月31日現在の評議員は別紙記載のとおり。

(2) 評議員会

令和元年度定時評議員会（令和元年6月14日開催）

報告事項

- ①平成30年度事業報告
- ②平成30年度会計監査執行の報告

決議事項

- ①平成30年度収支決算報告

令和元年度第1回臨時評議員会（令和2年3月19日開催）

承認事項

- ①第34回塚原仲晃記念賞、研究助成及び第33回国際交流助成の選考
- ②令和2年度事業計画
- ③令和2年度収支予算
- ④令和2年度資金調達及び設備投資の見込みについて

決議事項

- ①理事の選任

3. 選考委員に関する事項

(1) 選考委員

令和2年3月31日現在の選考委員は別紙記載のとおり。

(2) 選考委員会

令和元年度選考委員会（令和2年2月6日開催）

協議事項

- ①第34回塚原仲晃記念賞受賞者の選考
- ②第34回研究助成受領者の選考
- ③第33回国際交流助成受領者の選考

4. 顧問に関する事項

令和2年3月31日現在の顧問は別紙記載のとおり。

5. 事務局職員に関する事項

事務局長 佐藤裕子

事務局員 小杉夏子

6. 登記に関する事項

平成31年4月5日：評議員の変更登記（東京法務局提出）

7. 寄附金に関する事項

寄附金収入額は55,000,000円。

①一般寄附金：5,000,000円（企業1社より）

②使途特定寄附金（公益目的事業（1）学術研究助成）：50,000,000円（個人3名より）

理事及び監事

(令和2年3月31日現在)

理事長	廣川 信隆	東京大学大学院医学系研究科特任教授
常務理事	貴邑 富久子	横浜市立大学名誉教授
	板東 武彦	新潟大学名誉教授
理事	久保田 競	国際医学技術専門学校副校長
	永津 俊治	名古屋大学及び藤田医科大学医学部名誉教授
	御子柴 克彦	東京大学名誉教授及び上海科技大学教授
	尾高 和浩	本田技研工業株式会社執行役員
監事	伊藤 醇	公認会計士
	鈴木 雅文	本田技研工業株式会社取締役監査等委員

評議員

(令和2年3月31日現在)

議長	大塚 正徳	東京医科歯科大学名誉教授
評議員	鈴木 良次	金沢工業大学研究支援機構顧問
	津本 忠治	日本学術振興会ストックホルム研究連絡センター長
	三品 昌美	立命館大学総合科学技術研究機構教授
	水野 昇	京都大学名誉教授

選考委員

(令和2年3月31日現在)

委員長	宮下 保司	理化学研究所脳神経科学研究センター長
委員	伊佐 正	京都大学大学院医学研究科教授
	岡澤 均	東京医科歯科大学難治疾患研究所教授
	岡野 栄之	慶應義塾大学医学部教授
	岡部 繁男	東京大学大学院医学系研究科教授
	尾崎 紀夫	名古屋大学大学院医学系研究科教授
	狩野 方伸	東京大学大学院医学系研究科教授
	後藤 由季子	東京大学大学院薬学系研究科教授
	酒井 邦嘉	東京大学大学院総合文化研究科教授
	渡邊 大	京都大学大学院医学研究科教授

顧問

(令和2年3月31日現在)

川本 信彦	本田技研工業株式会社最高顧問
佐野 豊	京都府立医科大学名誉教授
椎名 武雄	日本アイ・ビー・エム元会長
塚原 眞佐子	故塚原仲晃教授夫人